

# 区長所信表明 項目

- 1 はじめに
- 2 区政運営における 5 つの考え方
  - 元気な地域産業と商店街の創造
  - 快適で安全・安心なまちの創造
  - 人情あふれる福祉と健やかな暮らしの創造
  - 家族の絆を大切に、子供の豊かな未来の創造
  - 歴史と文化が薫る、魅力ある国際文化観光都市の創造
- 3 補正予算について
  - 元気な地域産業と商店街の創造に関する経費について
  - 快適で安全・安心なまちの創造に関する経費について
  - 人情あふれる福祉と健やかな暮らしの創造に関する経費について
  - 家族の絆を大切に、子供の豊かな未来の創造に関する経費について
  - 歴史と文化が薫る、魅力ある国際文化観光都市の創造に関する経費について
- 4 行政計画の策定について
- 5 大規模用地の活用について
- 6 教育大綱の策定について

# 代表質問

代表質問とは  
各会派の代表者が区長提出議案や区長の政治姿勢に対し、質問を行うことです。



台東区議会自由民主党

たか もり きみこ  
**高森喜美子**

## 観光・区内産業と庁内組織について

**問** ①観光政策について、これまでの取り組みの効果の検証等を行い、観光のグレードを上げるための具体的政策や、ものづくり産業のブランド力の強化等を推進する戦略的政策が必要ではないか。②本区では各所管課が連携・協力し合う横断的組織を設置しているが、成果が見えてこない。成果を出すため、この組織をどのように活用していくのか。**答** ①本区の課題や取り組みの成果等を検証し、新たな観光施策の指針とする新観光ビジョンの改定に取り組み、観光の一層の振興が図れるよう効果的な施策を検討していく。また、本区の魅力を最大限に発揮できるよう総合的に観光施策を展開していく。②複雑・多様化する行政課題に効率的・効果的に対応するためには、庁内に設置した課題別横断組織等を有効に運用する必要がある。情報共有の徹底や各部の連携を図り、更に事業効果が上がるよう取り組んでいく。

## 安全・安心なまちづくりと区有地の活用について

**問** ①木造住宅密集地域の整備や来街者への災害情報伝達等、防災まちづくりについて、どのように取り組むのか。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、バリアフリー化を促進する必要がある。国や都と連携し、公共交通機関に働きかけるべきではないか。②地域の将来性やニーズ、土地利用の効果、行政課題等を勘案し、区の活用方針を示すことが必要ではないか。基本的な考え方を伺う。**答** ①不燃化建替えや老朽化建築

物除却に対する新たな助成制度を設ける等、木造住宅密集地域における取り組みを強化した。また、防災広場や一部の公園にかまどベンチ等を設置するなど、防災機能を充実している。災害情報については、4か国語の帰宅困難者向け防災ガイドの配布などを行っている。今後も、安全安心なまちづくりを進めていく。また、公共交通機関の事業者に対しては、鉄道駅のホームドア設置を区の補助対象とするとともに、国や都等と連携し、新たなバリアフリールートの追加等、利便性の向上を強く働きかけていく。②地域の活性化に資する活用が重要であることを踏まえ、様々な観点から庁内で検討を進め、区の考え方を取りまとめていく。

## 幼児教育と人材の確保について

**問** ①就学時前人口の伸びに比べ、幼稚園への入園者は減少傾向にあることから、私立幼稚園における預かり保育を充実し、長時間保育に対する支援制度を創設してはどうか。②保育士の人材確保のため、保育士資格を活用していない方や現場を長期間離れている方を対象に、区内の保育所で実習体験を行い、就職につなげてはどうか。また、園ごとに行っている採用募集を区公式ホームページで一括掲載し、求職者に情報提供してはどうか。**答** ①預かり保育を実施している私立幼稚園には、区独自の補助制度を設け、運営支援をしている。長時間保育に対する支援制度については、子ども・子育て支援新制度等の動向を踏まえ、私立幼稚園関係者と相談しながら検討していく。②待機児童解消のためには、保育を支える保育士の確保は不可欠であり、私立保育所や認可保育所に対し、就職説明会に係る費用等を助成し支援している。また、採用募集の区公式ホームページでの一括掲載については、現在、私立保育所等に求人方法に関するアンケートを実施しており、その結果を踏まえて検討していく。



たいとうフロンティア

あお やぎ まさ ゆき  
**青柳雅之**

## 区長の政治姿勢と区政運営について

**問** ①区長が掲げる「躍進台東 新しい台東区」を実現するためには、議会をはじめ区民の理解と協力を得ることが必要不可欠であると考えているが、今後、どのような姿勢で区政運営を進めていくのか。②区長は、吉住前区長が行った業績を高く評価しつつ、一方で自身の新しい台東区政の考え方を掲げている。吉住前区長の区政と服部区長の新しい区政の違いは何か。また、行政の継続性という視点において、前区政から継続・継承していくものは何か。③国や都との連携強化について、本区の独自性・特徴等を活かしながら、区の事情を踏まえて積極的な提言を行い、国や都の施策に反映させていくことが重要ではないか。また、世界に冠たる歴史・文化資源に恵まれた本区において、文化・観光施策の充実のために、安定した自主財源が重要と考えるが、どのように確保していくのか。④選挙は民意を反映し、時の民意を深く知る意味でも非常に重要な制度である。区長はこのたびの選挙で、約2万5千票を獲得して当選したが、これは残念ながら、有権者全体の17%程度に過ぎない。こうした状況にあって、今後、今回の低投票率の選挙結果に表れた民意をどのように把握し、区政に反映していくのか。**答** ①「躍進台東 新しい台東区」を掲げ、区民福祉の向上、台東区政の更なる発展を実現していくため、議会をはじめ区民や関係機関の意見を広く聞き、理解と支

援を得ながら区政に取り組んでいく。②本区が大きく飛躍するチャンスである東京オリンピック・パラリンピックに向けて、都市基盤の充実や一層の国際化を図り、その成果を有形・無形のレガシーとして、区の将来を担う子供たちに残していかなければならない。所信表明で述べた「元気な地域産業と商店街の創造」、「快適で安全・安心なまちの創造」など、5つの考え方を踏まえ、「躍進台東 新しい台東区」を実現するために必要な施策を積極的に展開していく。また、行政の継続性は重要なことであり、基礎的自治体として、区民生活に身近な施策についても着実に取り組んでいく。③将来にわたり、区民の誰もが誇りをもち、安心して暮らせるまちであり続けるためには、山積する課題に国や都と連携し、活力ある都市として、更なる成長と発展を遂げていくことが重要である。区の事業運営については、単独で実施できるもののほか、国や都との連携・協力が重要なものも多くある。今後も、区の実情に合わせ、これまで培った自らの経験を活かし、規制緩和や補助制度の創設等についても積極的に働きかけていく。また、文化・観光などの区独自の施策の推進にあたっては、自主財源の確保に取り組むことが重要である。これまでも、学校跡地等の区有財産について、貸付料等の収入確保につなげてきた。また、広告事業などの収入確保の取り組みを推進してきた。今後も、自主財源の増収など収入確保に積極的に取り組み、更なる一般財源の拡充に努めていく。④選挙は民主主義の根幹をなす制度であり、民意を反映するための重要な機会であると考えている。今回の投票率については事実として受け止め、区長ふれあい懇談会やパブリックコメント等、広く区民からの様々な意見・要望を聞くことで民意を的確に把握し、区政に反映していく。



台東区議会公明党

こ すげ ちほこ  
**小菅千保子**

## 長期総合計画について

**問** 新たな長期総合計画が策定されたが、区長が示す5つの考えに基づいて、どのように区政を進めていくのか。**答** 長期総合計画で定める各分野

の個別課題と、区政運営における5つの考え方を踏まえ、具体的な取り組みを示す行政計画において、今後3年間で重点的、優先的に取り組む必要がある事業を計画化している。計画事業を着実に推進して、区民の誰もが誇りを持って安心して暮らし続けられるよう、「躍進台東 新しい台東区」の実現を目指していく。

## 地域包括ケアシステムの構築について

**問** 高齢化率が23区中2位の本区が超高齢社会に対応するために、地域医

療、在宅介護、介護予防など、多様なニーズに即した地域包括ケアシステムを構築すべきではないか。**答** 第6期高齢者保健福祉計画では、地域包括支援センターの体制を強化し、福祉・医療・介護全般にわたる相談支援の充実を図ることとしている。また、高齢者や家族を支えるための地域ケア会議を開催し、地域のネットワークの強化等に取り組んでいく。更に、専門医等のチームが認知症の疑いのある高齢者宅を訪問し、認知症の早期発見・診断に努めていく。今後も、区民のニーズを踏まえ、医療や介護などのサービスを一体的に提供し、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいく。

**「予防」という観点から健康寿命を延ばす対策について**

**問** ロコモティブシンドローム（ロコモ）は、運動器の衰えから身体機能が低下し、介護が必要となるリスクの高い状態をいう。このロコモの予防対策など、健康寿命を延ばす取り組みを政策的に推進し、「自らの健康を創る」という意識の啓発に取り組むべきではないか。**答** ロコモ予防対策として、ふれあい介護予防教室などの事業や健康推進委員活動を通じて、ころばぬ先の健康体操の普及と、体操を指導する健康体操サポーターの育成に努めている。今後も、仲間とともに楽しみながら、自らの健康をつくるという気運を高めていけるよう、ロコモ予防の大切さや健康体操について広く啓発を行っていく。

**「予防医療」の観点から胃がん予防のためのピロリ菌検査の導入について**

**問** ピロリ菌の除菌は、胃がんの発生を減少させるとともに、医療費の削

減効果も望める。胃がん予防のためのピロリ菌検査を早急に導入すべきではないか。**答** 区は、国の指針に基づき胃エックス線検査を実施している。今後、国の動向を注視するとともに、医師会と協議しながら、胃がん検診の受診率向上に向けて取り組んでいく。

**腎臓病を重症化させないための取り組みについて**

**問** 腎臓病等の早期発見・重症化予防のため、総合健康診査の検査項目であるクレアチニンの意味について、普及啓発を行ってはどうか。**答** 腎臓病を含む生活習慣病などに関して、栄養指導等を実施してきた。今後は、広報たいとう等により、腎臓病に関する知識や、クレアチニンの検査結果の見方などの情報提供を行っていく。また「健診を受けようキャンペーン」等、さらなる普及啓発に努め、医師会とも連携しながら腎臓病の重症化防止に取り組んでいく。

**減災対策のための道路の空洞化調査について**

**問** 防災・減災のための安全対策として、道路の陥没の原因となる空洞化を早期に調査すべきではないか。**答** 平成26年度に、道路ストック総点検により、道路の路面をレーザーで調査する路面性状調査を実施し、必要な補修を行った。路面下空洞調査についても、効率よく広範囲に調査が可能であることから、実施に向けて検討していく。

**産業振興について**

**問** 区長は所信表明において、「元気な地域産業と商店街の創造」との考え方を示したが、①区内産業の現状をどのように認識し、どのような課題があると考えているか。②今年度より個別事業者への支援体制を構築するため、産業振興事業団の機能を強化したが、どのように活かしていくのか。③無料公衆無線LANは、外国人観光客においては不可欠であり、利用者の利便性や区有施設への拡充等も必要と考えるが、整備促進に向けた所見を伺う。④国際文化観光都市として、バリアフリー特定事業計画を充実し、ユニバーサルデザイン施策の更なる推進を早急に図るべきではないか。**答** ①本区は多様な地場産業等によりまちの活性化が図られてきたが、依然として厳しい経営環境が続いている。中小企業対策は重要な課題であり、経営基盤の強化や企業力の向上を図るとともに、創業・起業の支援等、本区の持つ産業集積の魅力を向上させることが必要と考える。②本年4月、関連する中小企業経営支援機関とビジネス支援ネットワークを構築する等、事業団の機能強化を図った。今後、各支援機関の専門性を生かした支援を通じて、事業団に蓄積される様々な知識や経験と、区が蓄積した情報を互いに共有し、事業団における支援策の強化につなげるとともに、産業支援施策の総合的な企画立案に活かしていく。③国や都の方針を踏まえ、区施設への整備に関する方針や区内の関係団体との連携を検討している。国内外からの来街者を受け入れる基盤が整備され、国際文化観光都市としての魅力が高まるよう、整備を進めていく。④各事業者が計画に基づき、鉄道駅・道路等の特定事業の実施に着実に取り組んでいる。今後はホームドア設置を区からの補助対象とするとともに、事業者に対しては新たなバリアフリールートの追加等、利便性向上を強く働きかけ、特定事業計画を充実させていく。

**つなぐプロジェクト**

とみ なが りゅう じ  
**富 永 龍 司**

**財政について**

**問** 本区は、依然として厳しい財政状況が続いていくと考えるが、現在の区の財政状況をどのように認識し、今後どのように財政運営を行っていくのか。**答** 本区の財政は歳入歳出両面において様々な課題があり、決して楽観できる状況にはない。今後の歳入は、消費税率10%の引上げ時における法人住民税の更なる国税化により特別区交付金の減が懸念される等、見通しが不透明である。また、歳出は増大する様々な行政需要を抱えている。このような状況においても、区民福祉の充実を図る諸施策等に対応するため、基金等を慎重かつ有効に活用しながら、効果的な事業の執行に努めていく。今後も中・長期的な視点に立った安定的な財政運営を推進していく。

**行政経営について**

**問** 区有施設の維持、保全や外郭団体のあり方など、行政経営の推進は永遠の課題である。本区の行政経営における課題をどのように認識し、今後どのように進捗していくのか。**答** 本区を取り巻く社会経済状況の変化により複雑多様化した行政課題があり、今後はそれらの課題に対し、経営的な視点から効率的・効果的に取り組むことが重要である。行政計画においても、今後3年間で重点的かつ優先的に取り組むべき事項として、区有施設の老朽化対策、収入確保対策、収入未済対策等を位置付け実施していく。

**日本共産党台東区議団**

あき ま ひろし  
**秋 間 洋**

**平和への認識について**

**問** ①安全保障関連法案に反対の意思を表明すべきではないか。②区は、自衛隊に入隊対象年齢の区民の個人情報を提供し続けているが、区長の決断で提供を断るべきではないか。③前区長が加盟した平和首長会議に、引き続き加盟すると約束できるか。④来年度以降についても、平和に関する取り組みを事業予算化すべきではないか。**答** ①国会において審議中でもあるため、反対の意思を表明するつもりはないが、今後の推移を注意深く見守っていきたい。②防衛省から自衛隊法に基づいて住民基本台帳の一部の写しの閲覧請求があった場合は、住民基本台帳法の規定により、対象範囲及び事項を限定して、請求に応じている。③平和首長会議の一員として参加し、平和への取り組みを進めていく。④東京大空襲から70年の節目である本年は、平和のつどいの開催、戦争体験記録集等の作成を平和祈念事業として予算化した。今後も平和に関する取り組みを予算計上していく。

**憲法への認識について**

**問** ①首長としての憲法遵守義務について、どのように考えているか。②区長は都議会議員時代に、新憲法制定を旗印にしている日本会議と連携する日本会議地方議員連盟の会員だったが、現在はどのような関係にあるのか。③憲法における地方自治の本旨とは何であり、自治体の長の役割はどこにあると考えているか。**答** ①自治体の長として、憲法を遵守することは当然のことである。②都議会自民党の一員として加入していたが、現在は会員で

はない。③地方自治の本旨とは、住民自治と団体自治の2つの原理から成り立つものである。自治体の長の役割とは、その本旨に基づき、その時々々の社会経済情勢を注視しながら適切に判断し、区政を推進していくことと認識している。

**区民生活と行財政運営について**

**問** ①区民生活の現状をどのように認識しているか。②前区長の行政改革、特に将来を見据えた行財政基盤の強化方針をどのように評価しているか。今後は、苦境に立つ区民生活を応援する行財政運営に転換すべきではないか。**答** ①本区の中小・零細企業の景況に一部改善が見られるが、先行き不透明な状況が続いている。②行政改革は多様化する区民ニーズ等に適切に対応するため、永遠の課題であり、極めて重要である。「将来を見据えた行財政基盤の強化に向けた取組み」は、そのうちの1つであった。経済の本格的回復はいまだ不透明な状況で、区財政は楽観できる状況にはないため、今後も時代の変化を的確に捉え、健全で持続可能な財政運営の推進に努めていく。

**教育について**

**問** 子供の成長や人格形成にとって、家庭での教育は重要であるが、それは法令で強制されることなく、また、政治が教育の内容に介入すべきでもない。区長は選挙公約等で家庭教育を強調したが、区長が言う家庭教育とはどういうことであり、どのように区民の中に進めていくのか。**答** 子育ての基盤は、学校・園だけで醸成されるものではなく、子供を育む家庭の役割が重要であり、家庭内で育まれる家庭の絆やルール、規範意識等を身に付けることが、学校・園での教育に結びつくと考え。家庭の役割を尊重し策定した、台東区教育大綱の理念を具体化するために、学校教育ビジョンの施策内容を、家庭を基盤としつつ、地域・学校と連携しながら推進していく。